

総合患者支援センターニュース

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

新年のご挨拶



総合患者支援センター長
岡山大学病院副院長

大塚 文男



新年明けましておめでとうございます。総合患者支援センター長・副院長の大塚文男（総合内科・総合診療科）です。一昨年から引き続き、昨年も新型コロナウイルスの感染拡大が勢いを増し、患者サービスや地域連携といった当センターの要となる機能が大きく制限された1年でした。昨年の夏以降は、緊急事態宣言による人流抑制もあり、ワクチン接種の推進と第5波の収束を経て、他県を含めた当院への紹介患者の制限が緩和されてきました。しかしながら、まだまだ安心できる状況ではなく、昨年末には新しい変異株も発生し、その動向が気になるところです。

さて、2022年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」です。壬寅は「陽気を孕み、春の胎動を助く」=厳しい冬を越えて、草木が芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。当センターでも「壬寅」の干支にあやかり、明るく希望にあふれる年になることを祈念してやみません。コロナ禍からポストコロナへ向けて、患者支援・地域連携・入退院支援などのセンター機能を、どのように患者さんに安心・安全に届けることができるか、新しいアイデアを模索しながら、医師・看護師・薬剤師・MSW・事務を含む多職種が一丸となって、ホスピタリティ充実に取り組みたいと思います。

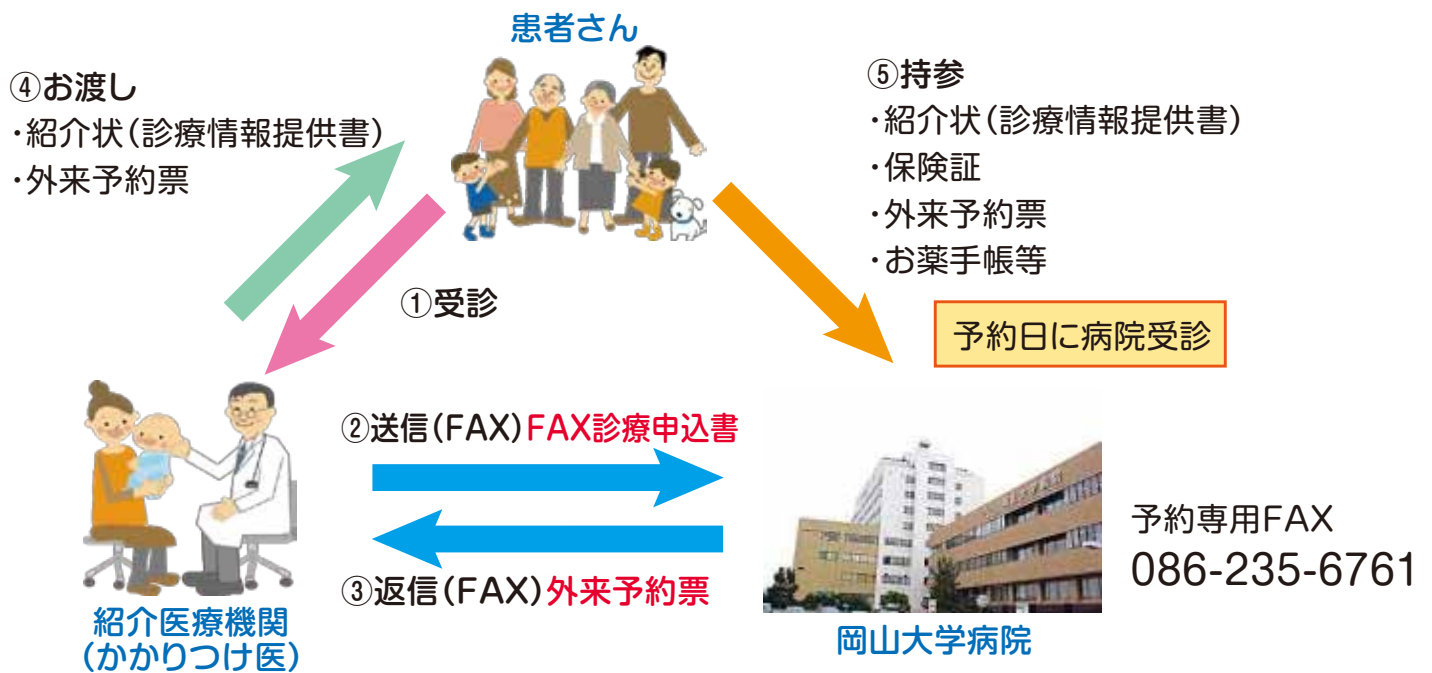
今年も引き続き、岡山大学病院の「玄関」に位置する部署として、患者さんのご紹介から転院、また介護・福祉・在宅に関する医療相談など、患者さんを中心とした温かいサポートに尽力する所存です。どうぞご支援・ご協力のほど、宜しく願いいたします。

地域医療連携部門からのお知らせ

◆初診外来予約取得の流れについて

当院の診療予約の受付は、紹介医療機関(かかりつけ医)からの申込みを原則としております。紹介元(かかりつけ医)から、事前に初診患者さんの情報を、FAX診療申込書と診療情報提供書でFAX連絡していただくことによって、診療科等の振り分けや緊急性の確認を行い、予約取得させていただいております。

また受診当日、患者さんには「紹介状」、「保険証」、「外来予約票」、記入した「診察申込書」(初めて受診する患者さん)、「診察券」(受診歴のある患者さん)、「お薬手帳」(現在服用中の薬かわかるもの)をお持ちいただいております。



紹介元医療機関は以下ホームページの「初診予約診療科情報一覧(医科)」を参考にしてください。

紹介予約についてHP:<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index81.html>

入院支援室の取り組みについて

入院支援室は2015年に設置され、内科系5診療科の入院前支援から開始しました。現在は周術期管理センターとも協働し、9診療科へ介入を拡大しています。

2019年は脳神経外科(一部)、頭頸部がんセンターに介入、2020年は消化管外科への介入を開始しています。患者情報、休薬確認、アレルギー聴取など、入院前に必要な情報を整えることで、外来・病棟の業務負担軽減、日曜入院の受け入れ、早期に退院支援が着手できるようになりました。入院前支援の窓口が一本化され、患者、医療者にとってわかりやすい仕組みの構築を目指し、今後も診療科拡大を目指していきます。

がん患者・家族のための交流の場

～コロナ禍での、がんサロン、がんカフェの活動を紹介します～

がん相談支援センターでは、以前よりがん患者さんが自由に語り、交流できる場づくりを様々な形で開催してきました。院内患者さんを対象とした「がんサロン岡大」、地域で話せる「がんカフェ」、がんに関心があれば誰でも参加できる「がんメディカルカフェ」です。「同じ患者同士だからこそ話せる」「ここに来たら力をもらえる」などの声を聞くことができ、参加者の方々にとって大切な交流の場となっていたと思います。

ところが、コロナウイルス感染拡大防止のために対面での活動ができなくなりました。

そこで、対面以外の活動方法を検討し「オンラインdeがんカフェ(オンラインによるカフェ)」や、「パネル展示でがんサロン(パネル展示による交流会)」を実施し、がん患者さん向けの広報紙「がんサロン岡大ひろば」を発行しました。オンラインカフェでは「慣れない事で最初は参加しづらかったけど、参加して良かった」「コロナ禍で孤立していたので、話せて良かった」などの感想が寄せられました。

今後も継続して開催、発行していきますので、詳細についてはがん相談支援センター(総合患者支援センター)へお気軽にお尋ね下さい。



岡山大学病院 がん相談支援センター(総合患者支援センター)主催

他の方の話を聞いてみたい等、がん患者、家族同士でお話ませんか?

オンラインde夜のがんカフェ

Zoom版 ミニレクチャーあり

日時:2021年10月27日(水)19:00~21:00(ミニレクチャー30分)
対象:がん患者さん、ご家族の方
参加費:無料 (PC、カメラ、マイク等の接続機器の準備、接続通信費用は実費必要です)
参加方法:下記の通りお申込みください。

ミニレクチャーのご案内

テーマ:「普段の生活で少し工夫すれば元気になれる方法」
講師:岡山大学病院 理学療法士 太田 晴之先生

先着12名

次回は2022年2月18日(金)に開催します

第15回 岡山県がん診療連携拠点病院オンライン公開講座の報告

2021年9月12日、岡山県がん診療連携拠点病院とそのがん相談支援センターの役割を広く周知することを目的に公開講座を開催しました。今回は、がん研有明病院の腫瘍精神科部長の清水研先生をお迎えし、がんところをテーマに「もしも一年後、この世にいないとしたら～病と向き合い、豊かに生きるために～」と題して講演をしていただきました。講演の中で、「人生の有限を意識することは、今日生きることへの感謝と大切な今を無駄にしないで生きよう」という心構えにつながるとお話しされました。

視聴者からも、自分との向き合い方を考える機会になったと多くの感想をいただきました。

がん相談支援センター&公立図書館との連携展示

県内のがん相談支援センターでは、がん征圧月間(毎年9月)にがん相談やがんの情報を広く知っていただくために病院内でのパネル展示を行っています。2017年度からは公立図書館においても展示をして頂けるようになりました。当初は岡山県立図書館1か所のみでしたが、今年度は県内6か所の公立図書館と県内13のがん相談支援センターとの連携展示を開催することができました。



認知症疾患医療センターのご紹介

診療について

脳神経内科・・・火曜日・木曜日の午前

精神科神経科・・・木曜日

いずれも地域の医療機関からの初診予約申し込み及び診療情報提供書が必要となります。早期診断や鑑別診断を行うこと、薬物治療の方針を決定しかかりつけ医をサポートすること、また患者さんの問題行動や合併する身体疾患の加療や適切な医療機関の紹介も行っています。

相談窓口について

相談窓口は、総合患者支援センター(外来棟1階受付①番横)でお受けしています。受診方法や生活・介護に関すること、病気に係る心配や不安、在宅での生活に関すること、患者会のご紹介などご相談をお受けしています。

WEBセミナー 認知症疾患医療センター市民公開講座のお知らせ 『今知りたい、認知症のあれこれ』

今年度は感染症予防のためインターネットでの配信を行います。下記のホームページを検索してください。配信期間2022年2月15日(火)～3月15日(火)の間、いつでもご覧いただけます。

岡山大学病院認知症疾患医療センター

検索



プログラム

講演1 「認知症の予防を考える」

講師:岡山大学病院 精神科神経科 助教 竹之下 慎太郎

講演2 「認知症と漢方 ～漢方を科学で解析する～」

講師:岡山大学病院 薬剤部 薬剤師 牛尾 総一郎

講演3 「高齢者運転と認知症について ～運転免許外来って何?～」

講師:川崎医科大学 神経内科 講師 久徳 弓子

お問合せ:岡山大学病院医事課医療連携担当

TEL:086-235-6499

主 催:岡山大学病院認知症疾患医療センター

後援:岡山県

閲覧
無料
予約不要